いのちを見つめる集い

2/27(木)
第278回

講師：鈴木直子 氏　横浜市立みなと赤十字病院勤務 ／ 水難学会統括指導員

日本体育大学女子短期大学を卒業後、日本赤十字社神奈川県支部に入社。現在、横浜市立みなと赤十字病院勤務。短大時代のライフセービング活動の経験から、日本赤十字社の普及する救急法･幼児安全法･水上安全法指導員として活動。(一社)水難学会が伝える「ういてまて（着衣泳）」と出会い、その活動・考え方に大きな影響を受け、水難学会統括指導員として指導員養成等の活動を行っている。

平成から令和にかけて大きな災害を経験しました。また、水辺の事故も後をたちません。私たちを取り巻く水辺の環境について見直しながら「事故防止」「自己保全(ういてまて(着衣泳))」についてみなさんにお伝えし、事故や災害時に自分の身を守ることや備えることを考える時間にできればと思います。
＊1.5ℓ～500mℓの空のペットボトルを１本お持ちください。

3/26(木)
第279回

講師：西村綾子 氏　アンガーマネジメントコンサルタント／フリーアナウンサー

日本アンガーマネジメント協会認定 アンガーマネジメントコンサルタント。情報番組リポーター、式典・イベント司会などフリーアナウンサー歴約 25 年。

「怒りの感情」について考えたことがありますか？怒ったことを後悔したり、なぜこんなにイライラするんだろう、と自分でも困っていたり。アンガーマネジメントは、「自分の感情に責任を持てる考え方とテクニック」を学ぶものです。一緒に学んでみませんか？

4/23(木)
第280回

講師：不二門至浄 師　真宗大谷派　流山開教所源正寺代表

1970 年三重県生まれ。真宗大谷派流山開教所源正寺代表。真宗大谷派青少幼年センタースタッフ。

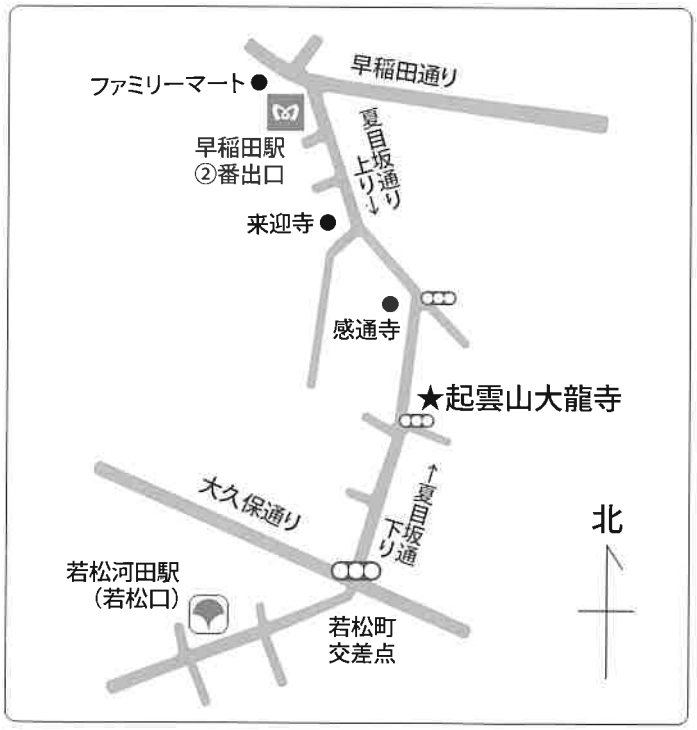
お寺離れの声が大きくなりつつある頃、よりによって、お寺を作る！と意気込んでしまいました。数々の出会いのなかで、かえって、お寺という場所がもつ意味を教えられています。

5/28(木)
第281回

講師：和田重良 氏　NPO 法人 くだかけ会会長

40 年以上にわたり、子ども達の生活教育活動を展開し、その実践をとおして青少年や家庭の生活にさまざまなメッセージを送っている。東京新聞「こころ」のページ「今週のことば」に連載中。

便利になり過ぎた文明の中で、「あんしんと平和」という命題は忘れ去られ、いじめや差別が蔓延しています。競争に勝たなきゃ人はしあわせになれないのか、不登校やひきこもりや非行の子たちとの共同生活から学んだことから人間のあり方を考えています。



大龍寺へのご案内

■ 東京メトロ東西線「早稲田駅」②番出口より「夏目坂通り」を道なりに上る。（徒歩約７分）
■ 都営地下鉄大江戸線「若松河田駅」若松口より左方「大久保通り」へ向かい「若松町交差点」から「夏目坂通り」を下る。（徒歩約７分）

仏教情報センターは、精神のよりどころとしての仏教を現代社会に生かすことを目的に、1983年（昭和58年）、首都圏在住の伝統仏教９宗派有志僧侶によって設立されました。現在150余名の僧侶がボランティアで参加し、『仏教テレフォン相談』を中心に活動しています。

一般社団法人
仏教情報センター